

R2主事招聘研究授業【道徳】リフレクションシート

令和2年度 竹富町立船浦中学校

互見授業リフレクションシート					令和2年度
日付	7月2日（木）	回答者数	7	竹富町立船浦中学校	
教科（学年）	道徳（1年）	【本時のめあて】テーマ 自分らしさ 向上心 個性の伸長			
授業者 氏名					

小中連携共通実践事項 ◎…よくできている ○…できている △…あまりできていない				
		評価		
		◎	○	△
		肯定的回答		
1	学習用具を忘れずに準備することができる。	100%	0%	0%
2	授業が始まる時刻には、席に着くことができる。	100%	0%	0%
3	授業のあいさつで3秒礼ができる。	57%	43%	0%
授業マネジメント（船中スタンダード） ◎…よくできている ○…できている △…あまりできていない				
	項目	評価		
	三本柱	◎	○	△
		肯定的回答		
4	学びに向かう力・人間性	86%	14%	0%
5	知識・技能	29%	71%	0%
6	知識・技能	0%	86%	14%
7	学びに向かう力・人間性	57%	43%	0%
8	思考力・判断力・表現力	71%	29%	0%
9	思考力・判断力・表現力	86%	14%	0%
10	思考力・判断力・表現力	43%	57%	0%

○よかったところ	●改善点
・小学生と中学生の自分を比べ変わったと思うところについて自己分析し、思ったことをしっかり伝えていた。自己理解ができていた。教師の自己開示があり、「自分らしさは？」の理解が深まった。・グループでの話し合いはグループとも楽しそうに意見交換していた。よさがたくさん出ていたのよかった。・グループの話し合いで使っていた表は、話し合うのに効果的であった。・道徳の年間計画に沿った内容で、定期的にタイムリーな内容であった。・タイムマネジメントを意識していた（タイマーの活用）。・ICTの活用。ペア学習の目的を把握し活用していた（導入）。・自信のある授業スタイルであった。・Mさんが笑顔であった。・価値を追究する場面でのグループ学習はよかった。・多くの生徒に発表させている。・自らの体験を話した、教材準備がしっかりしている。・先生自身の体験から、グループ活動に行く流れがスムーズでよかった。・グループでの話し合いの決まりをしっかりと事前に確認したのはとてもよかった。活動が充実している。・教材の準備も分かりやすくよい。・グループワークの前に、ルールを確認していたところがあった。・パワーポイント、体験談など、教材研究、準備がしっかりできていた。・モニターの使用で、自分達の1年前を思い出しやすくなった。・1年前の自分との違いで、学習態度や生活習慣の向上に気づくことができた。・話し合いの前に、インストラクションを確実にすることで、ルールを確認できた。・よさを表す言葉の補助で、話し合いが活発になった（教材・教具の工夫）。・ペア学習や発表がスムーズでよい。小学校の時と今の写真を見せてからの発問もよかった。・デジタル教科書とパワーポイントを上手く活用していた。・お互いをほめあうことができていた。・カードの提示がよかった。	・テキストを読んでいるとき、読んでいない生徒がいた。教師は生徒の様子を見て、注意をうながす必要がある。・最後、時間が押してしまい、終末がもったいなかった。タイムマネジメントをしっかりと行い、最後までできるようにしたい。・よさはたくさん出ていたが、理由について伝えるのが少し弱かった。基本話型の掲示物があるとよいと思う。・板書の工夫→生徒の思考が見える→板書計画を作成するとよい。カリキュラムマネジメントの視点。・重点活動が互いのよいところを伝え合う場面であれば、それを中心にしたワークシートを作成（聴きながら自分のよい点を箇条書きor参考で示してたカードを丸付けるなど）時間短縮できそう。・理由を付け加えるとき、難しいように見える。～の場面で、や〇〇のときにこうだった、と場面をつけ加えさせることで引き出しやすくなるのでは？・ペケットが重そう。・振り返りの時間がとても大切だと思うので、もう少し時間の確保があった方がいかな？

その他	【授業者の振り返り】
・学級の雰囲気がとてもよかった。支持的風土が感じられ、生徒相互の信頼関係がある。・アクティブラーニングの手法を用い、何のためにペア学習やグループ学習を活用しているのかが明確であった。・キッチンタイマーの準備、上等！・Rさんとさん、Mさんなど、普段話さない関係の子達が、お互いの長所を伝え合う活動は、お互いとても嬉しそうだった。生徒達にとってもよい授業だったと思います。・Mさんへの声かけがよかった（目線に合わせて発言をうながした）。・照れくさい褒め言葉をこれだけいきい言えるよいうクラス！・褒められている間の子もたのうれしそうな顔！・この顔にさせることができただけでも大変意味のある授業です。・発表の順番の確認は2人目までぐらいでもよかったかも知れませんが「ほめられる人は〇〇さん、ほめる人は次の人から順にね」みたいにい）	・子ども達自身で自分の成長や友達とのよさを見つけて、自分らしさを考えるきっかけづくりができた。・グループ学習で、子ども達が一生懸命考えて、時間いっぱい伝えようとする姿が見られたので、この時間だけで終わらず、行事などを終えて、振り返る時期にも継続して行っていきたい。・タイムマネジメント、板書の工夫が必要。

主事招聘研究授業リフレクションシート					令和2年度
日付	11月18日（水）	回答者数	23	竹富町立船浦中学校	
教科（学年）	道徳（1年）	【本時のめあて】テーマ 日常生活のきまりの意義			
授業者 氏名					

小中連携共通実践事項 ◎…よくできている ○…できている △…あまりできていない				
		評価		
		◎	○	△
		肯定的回答		
1	学習用具を忘れずに準備することができる。	91%	9%	0%
		96%	4%	0%
		52%	26%	22%
		78%		
◎…よくできている ○…できている △…あまりできていない				
	項目	評価		
	三本柱	◎	○	△
		肯定的回答		
	学びに向かう力・人間性	32%	68%	0%
	知識・技能	39%	61%	0%
	知識・技能	57%	43%	0%
	学びに向かう力・人間性	26%	65%	9%
	思考力・判断力・表現力	61%	39%	0%
9	思考力・判断力・表現力	39%	61%	0%
10	思考力・判断力・表現力	36%	50%	14%

○よかったところ	●改善点
・登場人物の心情について、生徒はそれぞれしっかり考えることができていた（心情理解）。・全生徒がみんなの前で発表する機会があり、それぞれしっかり発表していた。・振り返りで積極的に手を挙げて発表できる生徒がいた。・きまりを守ることの大切さについてはみんな理解していた（行動が伴うかは別として）。・最初にグループワーク、積極的に「きまり」を挙げられていた。指示が明確でよかった。・残り時間を見て、用意していた質問を省いて中心発問を考える時間を確保できたことがGood。・きまりの特性の理解が広がった（守るもの→周りのため、自分のため）。・いさん、さん自分が前から発表できた。・グループ活動がとても活発でした。・矢印などの思考ツールも立場の明確化につながったと思います。・振り返りからも変容が見られて、自分の中で考え、よい学びになった。・グループでの話し合いも計画的に行われていた。・授業において一人ひとりの「声」を大切にしているところがすてきでした。・丁寧な心配りも見られました。・教材を上手く自我関与感を持たせて、中心発問へと導くことができていた。導入の「なぜきまりを守るの」→終末と変容を感じられた。・一人一人が発表できる場があるのはよいが、個人からの積極的な意見がでるといい。・導入の場面で、生徒の視点を変える声かけや、安心して発表できる雰囲気づくりができていた。・個々グループ→全体と考えをまとめる時間がとれていてよかった。・一人一人が発表できる場があった。・全員の発表があった。・発言しやすい雰囲気がある。・色々な意見が出ていた（いろんな視点）。・グループ活動の役割が決まっていたスムーズだった。・グループで学習しているところ。・学習を通して、消極的な考えから積極的な考えへ変わっていたよかった（内容を理解している！）。・まよめ段階で、個人でしっかりと意見をまとめた。・振り返りの場面で「今までと違う考えはあったかな」との声かけがあって、深い学びにつながったと思う。・生徒の声を丁寧にひろっている。・全員に発表の場があった。・一人一人がじっくりと自分の考えを書いたり振り返ったりすることができていた。・子ども達の声からわらうことが見える。・話しやすい雰囲気にいるような場面で見られたのよかった。・自分の考えを付せん紙で書かせて、グループで話し合う場面がよかった。・先生自身の考えを伝えていてよかった。・物語を通して、心情の変化が感じられた。・自分事として落とし込んで考えさせていた。・グループ内で他者の意見をシェアすることがよかった。・登場人物をそれぞれの立場の気持ちで考えていたところ、多面的・多角的に価値を深く考えていくための準備になっていた。・矢印の理由で自分の考えの位置付けが可視化（見える化）されることで、友達との違いや自分を見つめる機会になっていたと思う。	・導入で日常生活のきまりの定義があいまいであった→仕分けしてもよかった。・きまりを守ることの大切さだけではなく、それを通して世の中をどうする的部分まで深められたらなおよい。→考案をつくるという部分。・「自分事」としてどこまで現実味を帯びて考えられていたかはまだ疑問で、そんな場面がもっと見られるようになった。・ルール違反に対する関心と行動。→そこから予想される揺さぶられる場面が少し弱く感じた。→まだクローズな終末？・中心発問まで時間がかかっていたので、中心発問を考える時間を多く取れると、より深められると思います。・個々グループ、グループ→全体への話し合いはできているが、考えの発表で終わっているように感じたので、そこを深める手立てが必要。・導入での発問「なぜきまりを守るの」をもっと考えさせてよい。・補助発問②での考えの変容が聞きたかった。→導入時の「なぜ決まりは守るの」をもう少し考えさせるとよかったかな。・班のメンバーを調整した方がいいたところもあった。・導入の日常生活のきまり→例を1つ程出してよかったかも「起きる、ねる」はきまり？・発問を減らして、中心発問に重点を置き、話し合わせてもよいかもしれません。・振り返りの場面で、社会としてのルールについても触れるとよかったのでは。・分かっていること（きまりを守る）をどう深めるか。・難しいと感じた。・グループのシェアで、自分と違う意見を聞いてみよう。納得できることは何、などの視点を与えて、お互いの話し合いを深める。・登場人物の3人だったら、自分ならどうするかと問うてもよかった。・淡々と授業が流れていたで、発問→ワークシートに個人で書く→グループという型だけにとられず、主体的に発表する場面もあったらメリハリができたと思う。

その他	【授業者の振り返り】
・この資料から、どう自分事としてとらえ考えさせるか、特に話し合いの方法など、もう少し工夫が必要かと思う。それを返して望ましい社会の実現へつながっているところを考えさせたい。・（きまり、ルールというより）生活習慣に意識が集まってきたときの手立てで、ざらっとしていけどGood家が多いので学校のある？・導入で出されたきまりは、意図的に「家・学校・地域」など分類してあげてもよかったかな。・顔が見えない第3者の存在にどこまで気づけているか。・アイデアとして「なぜ、きまりを守る事は大切なのに、守られない状況が続くかなのか」を考えるさせるのは。・大変な中、お疲れ様でした。とても落ち着いた授業で参考になりました。・タイムマネジメント、前段を時短し、中心発問にかかる時間を取った。・内容項目のとりえ＋教材の持つ道徳的価値の理解を深めるともつといいと思います。お疲れ様でした。・ワークシートやICTの活用など工夫されていてよかった。・発表の際、拍手した方がよい。・お疲れ様でした。生徒を日頃から大切にしている先生の気持ち伝わってきました。・3年、2年でも同じ内容でやったのですが、「自分事」が多。→で1学年では他学年と違った反応が出た。（検証授業で）3学年は「関心はあるけど行動できない」という本音が多く、そこからどう深めていくのか3学年担任として、こちらも発問に困った。分かっているけどできないことは、大人でもあること。道徳は大人もともに悩み、一緒に考える場だと改めて感じた。	・生徒達は、真面目にきまりを守る事ができる。一方で、ルールだから守っている（だけ？）という他律的な考えに留まっているように見える。→何のためにきまりがあるのかを考えさせたい。気づかせたい。・いろいろな立場があること、そのような立場に立つて考えさせるためのアイデアを考えた。・本時における生徒達の「みとり」として、自分事として考えられた様子があり、よかった。・今後、心情の育成を通して、いろいろな行動へつながっていければいいなと思う。